



短期留学参加者体験談

カリフォルニア大学デビス校（アメリカ）

《1年 基礎課程 2022年度参加（オンライン）》

初めは、分からないことだらけで、不安の方が大きかったです。授業や課題にも慣れるまでには、2週間くらいはかかりました。でも、慣れてきた後の2週間は、本当にあっという間でした。授業はとても充実している内容だったと思います。毎週、自分でテーマに関連する記事を見つけ、要約と自分の意見、そして、ディスカッションのための質問を書きました。ディスカッションも完全に学生主導で、かなり深い内容を話し合えたと思います。授業の半分は交流していたといっても過言ではないほど、沢山交流しました。私のクラスは12人で、ちょうどよい人数だったと感じます。うまく話せないときや、話しづらい内容もありましたが、お互い尊重し合いながらも、それぞれの意見や経験を共有していました。

《3年 英語文化コミュニケーション学科 2021年度参加（オンライン）》

参加する前は「オンラインだし意味あるのかな」や「たった一ヶ月だし」「もう3年生だし」と考えていました。ですが、オンラインだからこそ現地学生と積極的に連絡を取り、短期間だからこそ集中して取り組むことができました。短期間でも自分自身の頑張り次第で素敵な経験ができると思います。『英語が話せるようになりたい』、『現地の学生と話してみたい』という自分の心の声を大切に挑戦してほしいと思います！

《3年 心理学科 2021年度参加（オンライン）》

授業内容が非常に興味深く、SDGsに関して私達の生活に馴染みやすいトピックについての学びが印象的でした。全体を通して、ディスカッション能力や英語の記事を読む力、サマリー力を養う事が出来ました。他のクラスメイトとブレイクアウトルームで意見交換をする機会も非常に多かった為、皆の意見が非常に刺激的で、貴重な時間でした。

《2年 心理学科 2019年度参加》

今回の留学は、私にとってとても大きな経験になり、毎日の留学生活が新鮮でした。学業面では、グループワークやディスカッションがすべての授業にあり、私は自分の意見を共有することが苦手だったため、はじめは戸惑うこともありました。しかし、毎日それを行っていくうちに慣れ、最後には抵抗がなくなっていました。苦手なことでも恐れずに続けていれば、慣れていくことができるということを学びました。

《2年 英語英文学科 2019年度参加》

ホームステイ先のホストマザーとホストファザーがとても優しく、土日は湖やサクラメントという街に連れてってくれました。学校から帰ると、美味しいご飯がいつもあり、英語もゆっくりと話してくれ、私も英語を理解することが出来ました。よく使うスラングや文法を教えてくれ、勉強になりました。また、ホストファミリーとアメリカの歴史や政治について話をする時間はとても楽しく、英語を学ぶだけではなく、アメリカの文化についても学ぶことが出来ました。



(※写真はすべて 2019 年度参加者提供)

サセックス大学（イギリス）

《2 年 教育学科 2019 年度参加》

先生方や街のお店の店員さん、タクシーの運転手さんなど色々な方々から、「イギリス人の英語を話そうとするのではなく、あなたの英語を怖がらずに話してごらん」と言われて、うまく言えなくてもいいからとりあえず相手に伝える努力をしようと頑張りました。

ブライトンには今回初めて行ったのですが、とても素敵な海辺の街という印象的でした。ロンドンよりもかなり郊外にあるため、物価が安く、人もゆったりとしています。治安も比較的良好で暮らしやすそうだなと思いました。

《2 年 国際交流学科 2019 年度参加》

今回の留学で印象的だったことは、大学が自然に囲まれていたこともあり、ウサギやリスなどの野生動物が見られたことです。また、大学の近くにあるブライトンという街は LGBTQ を推奨している場所で、私たちがたまたま初日に行った日が記念日だったようで、街に虹色の横断幕がかかっていたり、虹色のコスチュームを着ていた人が多くいたりということも印象的でした。

午前中の授業は文法についてテキストを使って勉強し、グループワークで更に深めていくという授業でした。また毎週水曜日に大学の講義を聞きに行き、事前に出された質問に答えるという授業もありました。日本の英語の授業とは違い、話すスピードが早く、聞き取ることが大変でしたが、とても良い経験になったと思います。午後の授業では、イギリスの文化を学ぶ授業で食やファッション、お祭りについて学びました。イギリスの食事や世界のお祭りについてプレゼンテーションをする機会もありました。また、ゲームを使って勉強する機会も多くあり、楽しく学ぶことが出来ました。

《2 年 国際交流学科 2019 年度参加》

今まで曖昧だった文法をみっちりと授業で再確認できたことが大変良かったです。週に 1 度ある留学生全体の授業では、イギリスの文学について理解を深めることができました。

授業以外に、現地の大学生が主体となり、留学生との親交を深めるためのアクティビティやイベントなどが週に 2 回ほど開かれていました。どのイベントも留学生が気軽に参加しやすいものばかりでした。毎週木曜日の昼休みにはティータイムがあり、その時間に他大学の学生と話す機会が多くありました。研修校の先生はいつも私たちのことを気にかけてくださり、授業で分からないことがあったとしても聞きやすい優しい方でした。サポートも手厚く、留学における不安は解消されました。

ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）

《2 年 英語文化コミュニケーション学科 2021 年度参加（オンライン）》

今回オンライン短期留学に参加して、今まで知らなかったカナダの文化や歴史を学べたことはもちろん、たとえ文法が間違っていたとしても、英語で物事を伝えることがいかに大切であるかを深く実感することができました。ディスカッションの際に自分から話すように心がけたおかげで、スピーキング能力は大きく向上したと思います。

《2 年 国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2021 年度参加（オンライン）》

各クラスに 1 名 Cultural Assistant(現地学生)が配属されており、オンライン上で意見を交わしたりリアルタイムで一緒にディスカッションしたりする機会が設けられていました。私たちの文化や考え方に大変関心を持ってきて様々な質問をしてくれたため、場を和ませてくれていたと感じます。また、毎日、様々な Workshop が開催されていたため複数の現地学生と交流する機会を得ることができました。

《2 年 国際交流学科 2019 年度参加》

授業は、週ごとにテーマが異なり座学だけではなく校内でインタビューにまわったり、街に出かけたりと充実していて毎日学校に通うのがとても楽しかったです。ジェンダーやスポーツなど身近な話題を様々な国の視点から意見を聞くことが出来ました。また、グローバルシティズンというテーマを通じてカナダの先住民族の文化にも詳しくなることができました。

《1 年 基礎課程 2019 年度参加》

私は UBC のアクティビティでシアトルへの週末旅行に参加しました。Cultural assistant の学生とプライベートな会話ができるのはアクティビティのみであったため、積極的に話しかけるようにしました。また、学外であっても学内のアクティビティであるため、English only のポリシーが徹底されていたことが良かったです。そのほかに、UBC はダウンタウンまで 40 分という非常に立地の良い場所にあり、放課後には友達と気軽にショッピングやカフェを楽しむことができました。また、週末にビクトリアを訪れたことも良い経験になりました。英語のサイトを見ながらホテルやフェリーの予約をするのは初めてでしたが、大学生らしい経験ができました。

(※写真はすべて 2019 年度参加者提供)



マギル大学（カナダ）

《3年 英語文化コミュニケーション学科 2022年度参加》

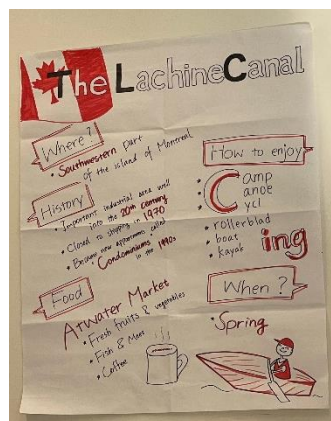
マギル大学の EISP のプログラム自体は日本人のみの参加ですが、英語力の向上に適していると感じました。寮内などの生活面をサポートしてくださる方々や、午前中の授業の先生方、午後の周辺を案内してくださるモニターの方全員が現地の方で、常に英語のコミュニケーションを取ることが出来ます。また午後の周辺観光は少人数のグループに分かれており、各グループそれぞれにモニターの方がついて下さります。年齢も先生と比較すると近いため、日常的な英会話もここで学びかつ海外で友人ができたような気持ちでした。日本人同士でいる間も極力英語を話したり、英語でゲームをしたり、知らない間に語彙が増えていくのが印象的でした。

授業は日本人のみのクラスであり、かつ英語力を向上させるためのクラスなので、クラスのレベルとしては全員同じようなレベルでした。そのため、英語ができないことに引け目を感じることなく積極的にクラスに参加できました。また、一週間に一回発音のクラスがあり、混同しやすい発音や正しい発音について学びました。現地の方が流暢に話すような喋り方もこのクラスで学ぶことができました。

《2年 国際交流学科異文化コミュニケーションコース 2022年度参加》

私は語学力に自信がありませんでしたが現地の方とコミュニケーションを取りたいという気持ちが多く、積極的に話かけることができました。恥ずかしい気持ちもありましたが周りの環境に恵まれていたので、間違ってもそれを訂正してくれることがありコミュニケーションを取りながら英語を学べるのが沢山ありました。また、何事も自分から前のめりに行くことで現地の方とコミュニケーションはもちろん良好な関係を築けるので積極的に行動する重要性を学びました。

私のクラスを担当してくださった先生の授業で印象的だったことが二つあります。一つ目は、最初の授業で「このクラスは間違いを沢山していいから恥ずかしがらないで」と言っくださり、とても安心しました。二つ目は、先生は授業内で難しい単語、発音、重要なことを言う際にマスクを外し口の動きを強調するように話してくれます。それがあつて少し理解が難しくても相手が何を言おうとしているのか読み取ることが出来ますし、私が発音するときに参考になる仕草だったと思いました。



※写真は 2022 年度参加者提供

《2年 人間関係学科 2019年度参加》

授業では、カナダの食事や動物、通貨、交通、有名な場所などに関するリスニングを聞き問題に答えたり、ペアでプレゼンテーションをしたりしました。身近な話題だったので、とても興味深く学ぶのが楽しかったです。また、カナダと日本でそれらについて比較してみたりもして新たな発見がありました。リスニングの英語のスピードが早くて慣れるまでは時間がかかりましたが、毎日行っていたのでリスニング力は向上したと思います。週一回、発音のクラスもあり、改めて正しい発音の仕方を学ぶことができました。午後のアクティビティでは、様々な所に行きました。テレビ局に行って番組を制作したり、街中に行って近くにいる人にインタビューをしたりしました。旅行の時には体験できないような貴重な体験をたくさんすることができました。アクティビティの最中にモニターさんやクラスの友達と話せて、さらに仲良くなることができ、たくさんの思い出も作ることができました。

《2年 心理学科 2019年度参加》

モントリオールの人はとても親切で、道を尋ねたらその場所まで一緒に来てくれたり、観光をしていたら話しかけてくれたりしたことが印象的でした。話す中で、日本のことについて聞かれることが多く、答えられないことがあったので、自分が住んでいる国のことくらいは知っておかなければならないなと思いました。自分から積極的に英語を話すことで初めて知ることや得ることが多く、コミュニケーションを取るということは本当に大切だと実感しました。また、駅でオーケストラが演奏していたり、街中で楽器を弾いている人や歌っている人がたくさんいたりしたのも印象的です。

モントリオールは、標識やカフェ・レストランのメニューの表記がフランス語のことが多く、少し戸惑いました。英語とフランス語のバイリンガルの人が多いですが、なかにはフランス語しか話せない人もいたので、コミュニケーションが難しかった場面もありましたが、フランス語に触れる良い機会にもなりました。



※写真は2019年度参加者提供